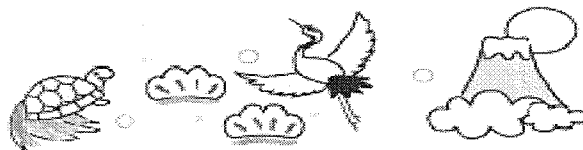


ケアマネだより

冬号
2011. 1 発行



謹
賀
新
年

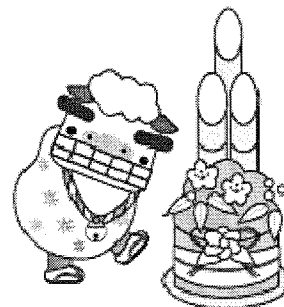
昨年中はいろいろお世話になり、ありがとうございました。たしか昨年夏は38℃を越える猛暑（酷暑）の連続でしたね。

そう思うと、日本には「四季」があり、春夏秋冬それぞれに情緒ある季節があり、日々の移り変わりの中で、元気や活力をもらっているのでしょうか。

そんな季節の移り変わりを、今年も皆様と一緒に、歩んでいきたいと思っています。

新年が皆様にとって良き年でありますよう、お祈り申し上げます。

介護保険利用時によく聞く言葉



今回は「からだの状態」を表す時に使われる言葉を集めてみました。

バイタルサイン

バイタル（生きている）サイン（兆候）は、人間の生命の基本的兆候です。主に「体温」「脈拍」「呼吸」「血圧」の4つを言います。

じょくそう

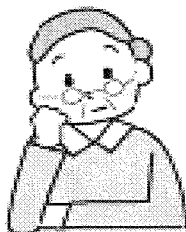
「床ずれ」とも言われています。ずっと同じ姿勢で寝ていると、体の重みで圧のかかった一部の血流が悪くなり、進行すると細胞が死んでしまう事です。

えん下（飲み込み）障害

食べ物・飲み物が飲み込みにくくなり、気管に入ってむせたり、肺炎の原因となります。

理解力の低下

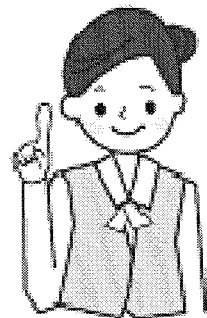
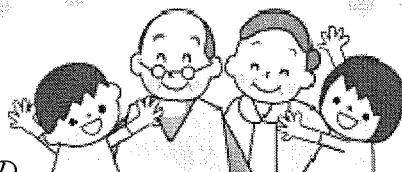
今まで普通にわかっていた事が、わからなくなったり意味が通じなくなる事です。



ケアマネジャーの役割

ケアマネジャーの主な仕事の最終回です。

春号から4回シリーズで、ケアマネジャーの役割についてお話してきましたが、介護サービスの利用がどのような流れで行われるか、少し分かっていただけたのではないのでしょうか？



今回は「居宅訪問」と「モニタリング」についてです。

「居宅訪問」とは、自宅及び入院・入所先へ訪問すること。

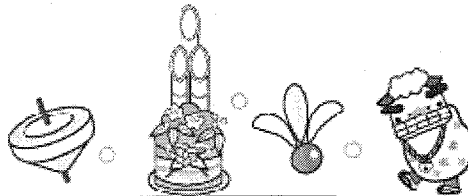
「モニタリング」とは、

- ①ケアプランに基づき、サービスが実際に行われているか。
- ②サービスの利用により、本人・家族の生活にプラスになっているか。
- ③ケアプランは本人に合っているか、見直しの必要はないか。

以上の事を確認します。

その為、少なくとも月1回はご自宅を訪問させていただき、ご本人・ご家族にお話を聞かせていただいています。訪問の際には、介護保険に関わる話だけでなく様々なお話を伺うこともあり、私たちもいろいろな勉強をさせていただいています。なんでも気軽に話してもらえる関係を持てたら、と思っています。

ケアマネのティータイム



介護を受けているのは90歳を超えたおばあちゃん。介護をしているのはお嫁様。介護度は「5」。長年にわたり介護してきた中で、特養への順番が回ってきた際も「もう少し家でみます。」と入所を見送りました。ある日、デイサービスを待っている間にふと「！」。お嫁様はスケッチブックを持ってきて、車いすに座っているおばあちゃんの横顔を、サラサラッと描きました。そこに色を加え、出来上がった「おばあちゃんの顔」。

しわの中には90数年という長い歴史が刻まれており、そこにお嫁様の暖かい気持ちが加わり、何とも言えない「すてきな一枚」が出来上がりました。

それは長年にわたり、おばあちゃんに付き添ってきたお嫁様だからこそ描く事のできた「絵」であり、見た人の気持ちまで和ませてくれる宝物だと思います。

